



将来テーマ (調整中)

新総合計画の都市像など関連計画との整合を図りながら、普遍的な考え方として決定する。(現計画からの大幅な改定は想定していない)

社会潮流を踏まえた着眼ポイント (重点戦略の設定)



気候変動への適応



設定 (新規) の背景

気候変動や地球温暖化、海洋プラスチックなどのごみ問題や希少種の絶滅等による生物多様性の損失など、地球環境が直面している状況は、危機的な状況といっても過言ではなく、こうした地球規模の環境課題に対応するため国内外が推進している考え方に着眼し、それぞれが描く構想を重点戦略として施策に反映させ、課題解決に向けた姿勢と行動を示したものの。

環境課題を横断的かつ持続的に捉えながら、各種の取組みを推進していく 3つの視点

はぐくむ

そなえる

つなげる

設定 (新規) の背景

重点戦略はもとより、環境未来像を実現する基本施策を推進させ、豊かで良好な自然環境を持続可能な形で次世代に継承していくためには、環境課題を横断的かつ持続的に捉えることが重要である。よって「市・市民・事業者等が協働できる組織や仕組み、意識を『はぐくみ』、気候変動などによる地球環境への脅威や変化に的確に『そなえる(る)』、秦野の環境や文化を守り持続可能な形で次世代に『つなげる』」の視点を基盤とし、関連する施策に取り組むもの。

4つの望ましい環境未来像 + 1つの環境未来像を支える事項

設定の背景

現計画を引継いだもの。(体系順序や文言整理等の軽微な変更は除く)
 これらを実現する基本施策は、社会潮流 (ex. 地球温暖化対策における「緩和」と「適応」) や体系の効率化 (ex. 公害対策の一元化) を反映した施策数 (15→12) に見直すもの。
 また、数値目標については、外部評価や達成状況を踏まえ、基本施策に対して1つの設定 (18→12+α) を基本形として見直すもの。

市・市民・事業者等との協働により展開される具体的取組

数値目標の達成や適切な進行管理を図りながら、それぞれの望ましい環境未来像、並びに将来テーマの実現に取り組むもの。